

令和元年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」

I. 教職員の資質能力向上の推進

(i) 自立的・持続的な研修体制づくりの推進事業

『情報公開セミナー』研修報告書

1. 令和元年度『情報公開セミナー』研修報告
 - 1) 実施要項
 - 2) 受講者アンケート 集計結果
2. 3年間の総括
3. 平成30年度『情報公開セミナー』実施要項
4. 平成29年度『情報公開セミナー』実施要項

令和元年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」

I. 教職員の資質能力向上の推進

(i) 自立的・持続的な研修体制づくりの推進事業

『情報公開セミナー』研修報告書

1. 令和元年度『情報公開セミナー』研修報告

- 1) 実施要項
- 2) 受講者アンケート 集計結果

1. 実施要項

◆主旨

専修学校の質保証・向上の観点から、各校の情報公開等を促進するための情報を共有する。

◆研修名

「専修学校における情報公開等の促進とその取組を通じた研修体制等の構築」プロジェクト
情報公開セミナー

◆日程・会場・申込数・参加者

<第1回> 令和元年11月13日（水） 13:15～16:00
山口県 新山口ターミナルホテル プリズムの間
28名申込／28名参加

<第2回> 令和元年11月21日（木） 15:00～17:00
京都府 私学会館 大会議室
58名申込／55名参加

<第3回> 令和元年12月26日（木） 13:30～16:30
岩手県 いわて県民情報交流センター 会議室804
28名申込／27名参加

1. 実施要項

◆研修内容・発表者

<第1回> 令和元年11月13日（水） 13:15～16:00
山口県 新山口ターミナルホテル プリズムの間

時 間	内容／発表者
13:00～	開場・受付
13:15～	開講挨拶 全国専門学校教育研究会 会長 佐竹 新市 山口県専修学校各種学校協会 会長 関谷 豊
13:25～	「専門学校における情報公開事例」 専門学校穴吹デザインカレッジ 校長 後藤 良二
14:00～	質疑応答
14:15～	「高等学校が望む専門学校の情報公開」 山口県鴻城高等学校 教員 岡村 昭男
14:45～	質疑応答・休憩
15:00～	「高等教育無償化機関認定申請業務を通して見える専門学校の情報公開状況の気付き」 山口県総務部学事文書課 私学振興班 主任 前田 優樹
15:30～	質疑応答
15:40～ 16:00	意見交換・セミナー感想・総括・アンケート記入

1. 実施要項

◆研修内容・発表者

<第2回> 令和元年11月21日（木） 15:00～17:00
京都府 私学会館 大会議室

時 間	内容／発表者
14:30～	開場・受付
15:00～	開講挨拶 全国専門学校教育研究会 副会長 山崎 彰 京都府専修学校各種学校協会 会長 田中 誠二
15:10～	「専門学校における情報公開の促進」 京都府文化スポーツ部文教課 課長 岡部 武
15:30～	「専門学校における情報公開事例」 学校法人大和学園 法人事務局 総合企画・大学設置準備室 部長 作岡 友樹
16:00～	休憩
16:10～	「高等学校が望む専門学校の情報公開」 京都聖カタリナ高等学校 進路指導部長 松崎 由香
16:40～	質疑応答
16:55～ 17:00	閉講挨拶

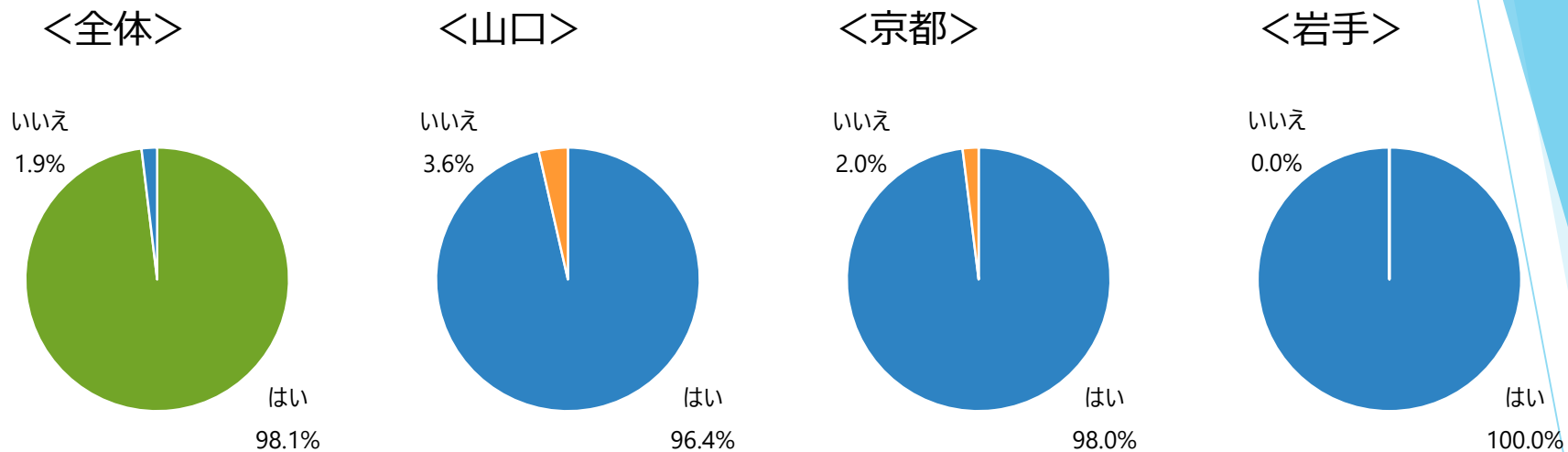
1. 実施要項

◆研修内容・発表者

<第3回> 令和元年12月26日（木） 13:30～16:30
 岩手県 いわて県民情報交流センター 会議室804

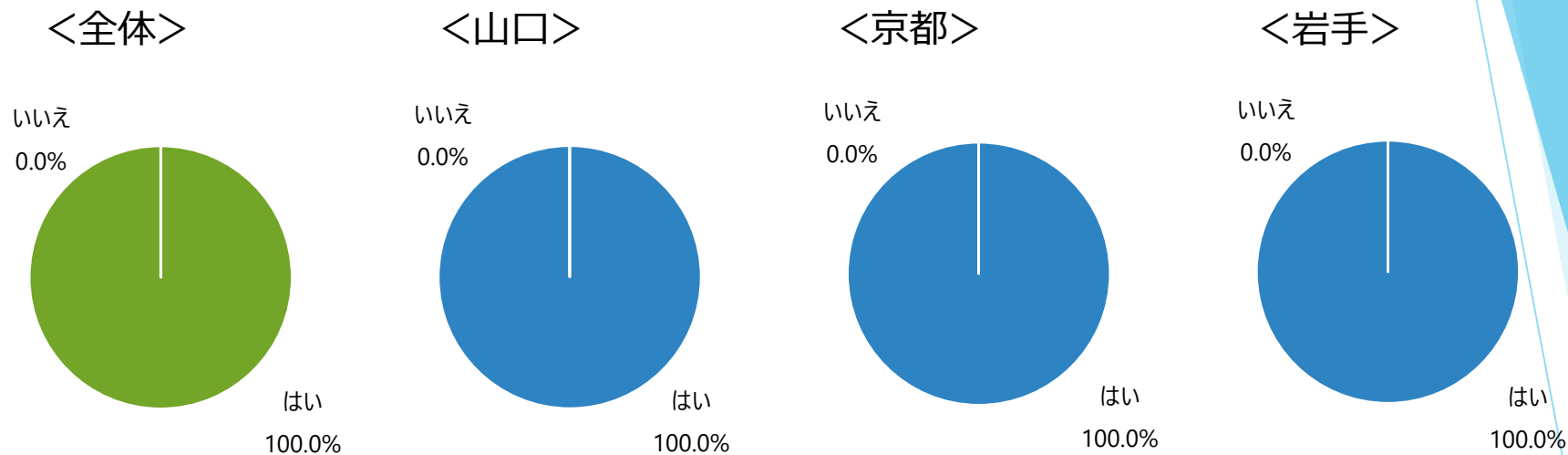
時 間	内容／発表者
13:00～	開場・受付
13:30～	開講挨拶 全国専門学校教育研究会 副会長 川崎 千春 岩手県専修学校各種学校連合会 会長 龍澤 正美
13:40～	「専門学校における情報公開事例」 専門学校穴吹デザインカレッジ 校長 後藤 良二
14:40～	「高等学校が望む専門学校の情報公開」 盛岡市立高等学校 進路指導主事 長谷川 和之
15:10～	休憩
15:25～	「高等教育無償化申請を通じた専門学校の情報公開」 岩手県政策地域部学事振興課 学事企画担当 主査 小原 哲也
15:55～	質疑応答
16:10～ 16:30	閉講挨拶

【1】セミナーは、あなたの興味をひかれた内容でしたか。



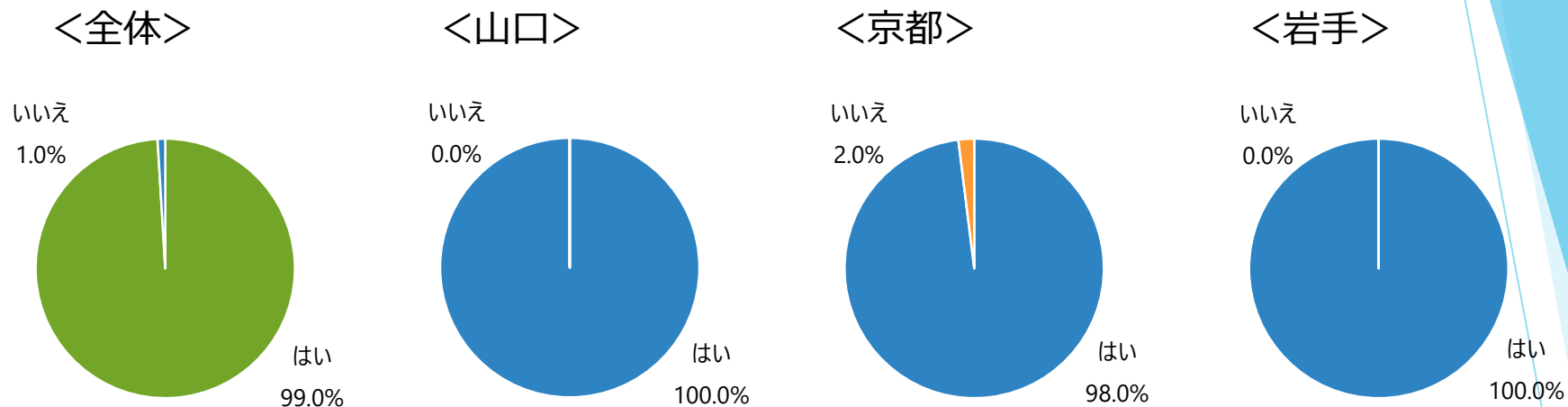
項目	会場		全体		山口		京都		岩手	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	103	98.1%	27	96.4%	50	98.0%	26	100.0%		
いいえ	2	1.9%	1	3.6%	1	2.0%	0	0.0%		
合計	105	100.0%	28	100.0%	51	100.0%	26	100.0%		

【2】セミナーは、これから役に立ちそうですか。



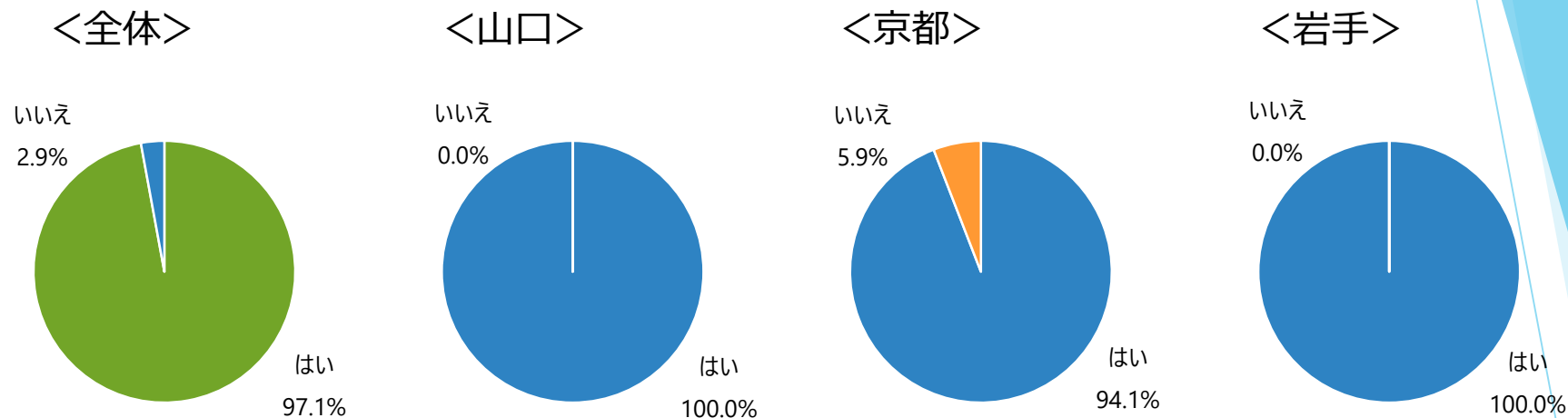
項目	全体		山口		京都		岩手	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	105	100.0%	28	100.0%	51	100.0%	26	100.0%
いいえ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	105	100.0%	28	100.0%	51	100.0%	26	100.0%

【3】セミナーを受けて、何か実行できそうですか。



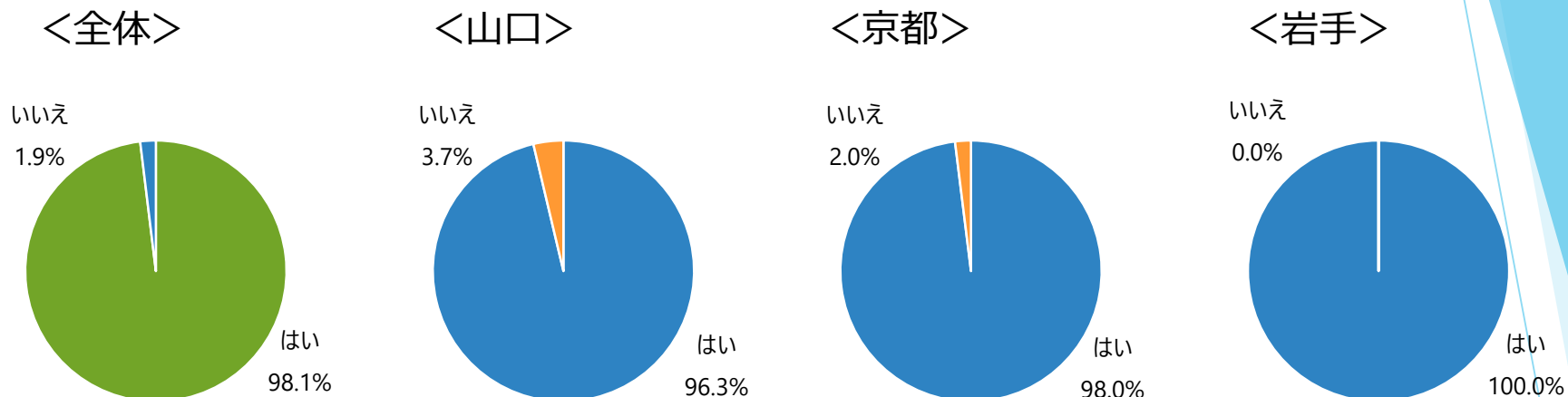
会場 項目	全体		山口		京都		岩手	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	104	99.0%	28	100.0%	50	98.0%	26	100.0%
いいえ	1	1.0%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%
合計	105	100.0%	28	100.0%	51	100.0%	26	100.0%

【4】セミナーは、満足できるものでしたか。



項目	会場		全体		山口		京都		岩手	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	101	97.1%	27	100.0%	48	94.1%	26	100.0%		
いいえ	3	2.9%	0	0.0%	3	5.9%	0	0.0%		
合計	104	100.0%	27	100.0%	51	100.0%	26	100.0%		

【5】セミナーを通じて、自ら実行したいと思いましたか。



会場 項目	全体		山口		京都		岩手	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	102	98.1%	26	96.3%	50	98.0%	26	100.0%
いいえ	2	1.9%	1	3.7%	1	2.0%	0	0.0%
合計	104	100.0%	27	100.0%	51	100.0%	26	100.0%

2. 受講者アンケート 集計結果

【6】自らの教育活動において、学びとなったことを自由に記述してください。

<山口>

- ・会場ガイダンス、校内ガイダンス等の重要さ、ガイダンスきっかけで学校に来る高校生の割合など、実数的なご説明があり、今後の広報活動をどうするべきか考えるヒントになったと思う。
- ・職業実践専門課程について、もっと知ってもらふ努力が必要であることを知った。
- ・産学連携「きら星弁当」企画、本校×JR西日本広島支社×広島駅弁×広島信用金庫による地域への貢献
- ・ひろしま国際平和マラソン完走者12,000人にオリジナルホットドリンク提供、など
- ・専門学校→情報公開の内容や方法について
- ・高等学校→就職率などの具体的数字の開示、職業実践専門課程のメリット
- ・県→高等教育修学支援新制度で申請しなかった理由など
- ・ホームページはTETORI（テトリ）等を利用し、見て欲しいところが容易に見れるよう工夫する。
- ・就職実績が学校選択の上で安心材料となるような情報提供にする。
- ・より企業のニーズを把握して学校に還元出来るよう、全体をマネジメントしていきたい。
- ・学生の想いや考えをキャリアコンサルティングを通じて具現化出来る様な体制を作り上げたい。
- ・情報公開が学院の武器となる様に行きたい。
- ・「専門学校における情報公開事例」の⇒HP上に高校宛の情報公開をすることは、とても有効だと感じた。
- ・「高等学校が望む専門学校の情報公開」⇒高校生はオープンキャンパスよりホームページの閲覧が多いことが理解できた。オープンキャンパス内の内容の充実も必要。
- ・「高等教育無償化機関認定申請業務を通して見える専門学校の情報公開状況の気付き」
⇒山口県内30校中16校が認可校であることが理解できた。
- ・3つの視点（専門学校、高校、行政）の報告はあらたな気付きとなり、よかったと思います。
- ・岡村先生の話は参考にさせていただきます。
- ・高校側からの希望等聞いて良かったです。参考にし、高校生に満足してもらえるよう工夫して行きたいと思います。
- ・高等学校が望む情報公開は大変参考になりました。今後のPR活動に生かしたいと思います。
- ・高等学校側の考えやご意見は参考になりました。※生徒のメリットとなるものを考えていきたい。"
- ・次週、京都会場を実施する者として大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・実態を正しく伝える事の大切さ、その為の教育の質の担保の重要性を学びました。また、データに基づいた事実の分析も進めていきたいと思います。

【6】自らの教育活動において、学びとなったことを自由に記述してください。

<山口>

- ・ 数値化して見える化をすすめていく事、数字を大切にしないといけない事を意識する必要を感じました。
- ・ 専門学校、高校、行政、それぞれの方の生の声が聴けたこと、大都市ではなく、山口県で開催していただいたことが良かったです。ありがとうございました。
- ・ 専門学校の常識は世間の常識ではない。（高校や高校生）
- ・ 大変参考になりましたが、特に学生の学習成果による情報公開例に興味を持ちました。ありがとうございました。鴻城高の岡村先生の話では、使用入試(推薦・一般・AOなど)の具体的な割合等は大変参考になりました。
- ・ とても貴重なお話でした。今後の参考にさせていただきます。
- ・ ホームページの動線を再確認しようと思いました。（自己満足になっていないか）また、それにあわせて、高校生、保護者、高校の先生がたの知りたい情報を適切に公開できるように工夫していきたいと思います。

2. 受講者アンケート 集計結果

【6】自らの教育活動において、学びとなったことを自由に記述してください。

<京都>

- ・「専門学校に求められる責任と対応」を伺い、今後もきっちりと情報公開のデータ作成、公開を続けたいと思います。
- ・高校生が望む情報を一つの学校内でのアンケート結果を見ることができたのは、大変参考になります。
- ・相手目線に立って、スピーディに工夫しながら告知（→強弱を置いている）を行う。
- ・職場でのチームワークが必須であるという点、改めて実感させられました。
- ・学校法人大和学園における情報公開の意義・目的
- ・経営理念における情報公開への関係性
- ・情報公開の意義、目的を明確にすること→社会からの信頼を獲得できる
- ・学内にも積極的に情報共有することで、業務が進めやすくなる。
- ・就職率だけでなく、いかに学生の夢の実現に向けてサポートしていくか、支援体制
- ・他校との比較がしやすい様に、必要な情報を網羅して公開してくる事が必要
- ・情報公開は、学校間の関係性の活性化に役立つ。
- ・他校のとりくみを知ることで、自校ならどんなことができるか身に迫って考えることができる。
- ・プロジェクトの複数担当の実現、定期の情報共有が確立されている。
- ・情報を受ける側、発する側の温度差
- ・HPでの積極的な对外発信
- ・taiwa様のSDGsの内容をHP、パンフレットに入れていることに関して大変参考になりました。本校でも取り入れたいと思います。
- ・頭の中だけで考えていたこと、思っていたことが、明確になり、具体的なイメージとして顕現してきました。
- ・関係法令など改めて確認できてよかった。私学法の改正や私大ガバナンスコードの推進など、今後ガバナンス面を含め、大学・短大の一条校と情報公開の格差が専門学校は広がっていくことで、社会からの信頼性を高めることができるか、業界全体の取組にも注目していきたい。
- ・基本の部分を再度確認し、事例を見させていただき、必要とされる情報が何かという現場の意見を聞いて、今後どう情報を公開するのが良いかというイメージがしやすかったです。
- ・高校の現場でどのような情報が参考にされているのかがわかった。また、受取手にとってわかりやすく確実に情報が届く公開の手段、量をしっかり考えていきたいと感じた。
- ・公表すべき内容をただ公表するのではなく、その中に、自校のアピールポイントを出していく。また学内広報という所ではむずかしさを感じていた所なので、やはり大事だと改めて感じた。

2. 受講者アンケート 集計結果

【6】自らの教育活動において、学びとなったことを自由に記述してください。

<京都>

- ・今後の広報活動に役立てたいです。
- ・様々な取り組みをされており、勿論参考になりましたし、勉強させて頂きました。又情報公開の大切さを今さらながら痛感致しました。ありがとうございました。
- ・自分の部署だけでなく、教職員全員で情報共有し、外部へ発信していくことが大切だと感じました。
- ・情報公開事例が大変参考になりました。
- ・情報公開すべき内容がよくわかりました。
- ・情報公開に組織的に取り組むこと。
- ・情報公開について他校の事例は大変参考となりました。
- ・情報公開の細かさが進学先決定の大きな決め手になることを改めて実感できました。ありがとうございました。
- ・情報公開の重要性と教育および募集活動への連携について
- ・情報公開の重要なポイントについて、5つの項目全てを再確認、各部署を連携して情報公開に取り組んでいきたいと思えます。大変有意義なセミナーとなりました。ありがとうございました。
- ・情報公開のスピーディさと透明性が、学校への信頼へとつながることを改めて実感し、組織的に取り組む課題であると思えました。
- ・正確でスピーディーな情報公開の必要性を再度認識することができました。
- ・専門学校が提供する情報が不十分と意見される中、高校が望む専門学校の情報公開の在り方について学ぶことができ、大変参考になりました。
- ・大和学園様の具体的な事例発表が非常に参考になりました。
- ・大和学園様の公開事例や、カタリナ高校様の求める情報のお話を聞き、修学支援の部分や、卒業生の情報公開が本校において足りないと感じたので、今回学んだ部分として活かしていきたいと思えます。
- ・大和学園様は先進的に情報公開に取り組まれており、CSV推進委員会を設置するなど参考となった。本校もSDGsとつながった取り組みを考えていたので参考にしたい。
- ・大和学園様を目標にしたいと思えました。
- ・単に情報を公開するだけでなく、そこへ信頼性やアピールを追求することで、閲覧者の為になるとわかった。根元にあることは高校生や保護者の立場になって考えることが大切である。
- ・チームの確立とスピード、情報の共有ありがとうございました。"
- ・同分野の作岡先生のお話しは大変参考になりました。ありがとうございました。

【6】自らの教育活動において、学びとなったことを自由に記述してください。

<京都>

- ・文教課からはもう少し情報公開の内容（学校間の比較）など、リアルな話や、内容をどこまで求めているかといった事を聞きたかった。又、高校側は専門学校の情報公開の内容、質などをどの様に見ているか、感じているかといったリアルな話を聞きたかった。※質疑応答で少しは様子が聞けたが・・・
- ・マイナスの情報をいかに信頼性に結び付けられるか、全教職員で共通認識を持ち、現場の課題解決と共に努力していきたいと思います。
- ・無償化申請、手続を通して、情報公開に取り組んでいます。
専門学校は非常に運営・経営の独自性が高く、多種多様であるが故に情報公開のレギュレーションも今後は整理されていくのかな？と考えています。「情報公開」はその意義・目的をふまえた態勢をつくるのは大変ですので、手探りで進めるのは中々辛いです。
- ・私共に今 取り組める内容としてCSV活動が出来ますので、社会貢献という意味で積極的に取り組んでいきたいと考えております。

2. 受講者アンケート 集計結果

【6】自らの教育活動において、学びとなったことを自由に記述してください。

<岩手>

- ・盛岡市立高等学校のアンケート結果は、大変参考になりました。「努力の必要性」は、OC等で説明していましたが、HPでの公表も要望があることを知りました。
- ・盛岡市立高校の発表が大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・ホームページに掲載されている情報について再度精査する必要性を感じました。
- ・情報公開において、出したい情報から、求められている情報を適確に発信する必要性を痛感しました。
- ・先進校の具体的事例
- ・高校現場の率直なご意見と提案
- ・高校現場の声が聞けたことは有意義
- ・高校生の声を聞けたのが良かった。今一度、HPの見直し等、オープンキャンパスの時期等も見直ししていきたいと思いました。
- ・自分が教えたことを言うのではなく、相手に合わせた教育活動を行いたいと思います。
- ・盛岡市立高校の生徒に対するアンケート調査で高校生の専門学校、そして情報に対しての考えを知る事ができ参考になりました。より質の高い情報発信につなげたいと思います。
- ・「高等学校が望む専門学校の情報公開」にて、卒業生が母校にて、出前授業を行い、専門学校で身に付けた知識を見せる事が、専門学校にて実施すべきであると感じた。（一つの責任）
- ・高校の先生から、生徒が求めている情報などで具体的に話をきくことができました。伝え方、内容、手法など、本日の話を受けて学校でも検討したいと考えます。ありがとうございました。
- ・高校生の進路先を決定する上で重要な項目アンケートは参考になった。
- ・今後の高等教育に求められている情報を正確に適切に管理し、公表することが責任として実施することが大切であると改めて学ぶ事が出来ました。本日は貴重な講演の機会をいただきありがとうございました。
- ・「知りたい情報」が発信・公表されているか、改めて意識する機会になりました。信頼、理解されることを目的に情報公開を行っていきたいと思います。
- ・専門学校へ入学するきっかけとして、大学進学や就職に失敗しても、気持ちを新たに頑張ろうとする生徒、専門知識に特化して学びたいという強い思いを持ってきてくれること、身が引き締まる思いで長谷川先生のお話を聞かせていただきました。本校学生の活動をtwitterであげていますが、オープンキャンパスに参加できない生徒さんのことも考え、情報公開を工夫していきたいと思います。

【6】自らの教育活動において、学びとなったことを自由に記述してください。

<岩手>

- ・情報の公開により、地域や社会に開かれた教育の実施を進めていきたいと思います。
- ・アンケートのみに頼らず、学生の本音を聞ける機会と関係性が重要と改めて感じました。
- ・教育活動ではないが、高校生への必要な情報を公開できるような取り組みを検討したい。
- ・今回もありましたが、高等学校が要望することをお聞かせ願いたい。

【7】今後のセミナー・講座等の要望があればお書きください。

<山口>

- ・ 学校広報のあり方（学生募集に限らず）
- ・ 高校生の実態の分かる本日のような内容のセミナー（高校の先生の話しなど）
- ・ 高等教育修学支援新制度の各校の対応事例

<京都>

- ・ 学校に生の声を伺えるセミナーがあれば、学校取組みの参考とできます。
- ・ 情報の見せ方、分かりやすい情報公開など、ノウハウなどを学ぶ機会があれば参加したいです。
- ・ 授業開始前のとりくみ（朝活、5分読書、など）
- ・ HRの効果的な活用法（考える力やコミュニケーション力向上のとりくみ）
- ・ AO入試のあり方について
- ・ 学校の認知度向上が期待できる取り組みについて
- ・ 学校評価について、具体的にどこまでやるべき（なのか、ガイドラインに添ったモノとしても、どこまで取り組めば良いの）でしょうか。
- ・ 貴重なお話ありがとうございました。
- ・ 今日のセミナーは「情報公開」という1つのテーマを、教育行政側、高校側、上級校という三つの視点からのレクチャー発表は面白かったです。これまでのレクチャーとは一味違いました。ありがとうございました。
- ・ 高校等が何を専門学校に望まれているのかもっと知りたいです。
- ・ このような機会があれば、またご案内いただきたい。
- ・ 私大ガバナンスコードに関する情報、情報公開の事例（先進事例）をより多く知りたいと思います。
- ・ 専門学校の教員は職業教育をすることにたけていると思うが、業界しか知らない・・・という教員もいるのも事実。教員向けの社会人としてのマナー、言葉づかいなど教えてもらえたら・・・。
- ・ 他校の認知度向上について、各校の取り組み事例
- ・ 複数の高等学校先生からのお話

<岩手>

- ・ なし

令和元年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」

I. 教職員の資質能力向上の推進

(i) 自立的・持続的な研修体制づくりの推進事業

『情報公開セミナー』研修報告書

2. 『情報公開セミナー』3年間の総括

年度	開催地	日にち	時間	申込数	参加者
平成29年度	福岡県	平成30年1月16日（火）	13:30～16:00	62	74
	東京都	平成30年2月2日（金）	9:30～12:00	150	160
平成30年度	香川県	平成30年11月19日（月）	13:15～16:45	29	29
	群馬県	平成30年12月5日（水）	13:15～16:45	28	29
	沖縄県	平成30年12月18日（火）	13:15～16:45	21	20
令和元年度	山口県	令和元年11月13日（水）	13:15～16:00	28	28
	京都府	令和元年11月21日（木）	15:00～17:00	58	55
	岩手県	令和元年12月26日（木）	13:30～16:30	28	27
合計				404	422

総括

- 形式上の情報公開は進んでいるものの実質上の情報公開については、公開内容、公開方法ともにさらなる充実が期待される。
- 専門学校の情報公開事例や高等学校からの情報公開に関する要望をテーマとした講演は、有意義なものとなった。
- 3年間のセミナーを通じ、各学校の本来あるべき情報公開が促進されるきっかけとなった。
- 参加費無料のセミナーでありながら、欠席者も少なく各学校の情報公開への関心度の高さが明確になった。
- 情報公開の仕方によって、見る側の利用率が変わる可能性がある。
- コンパクトに情報公開のエビデンスとして共通の客観的データを経年でみることができるといい。

令和元年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」

I. 教職員の資質能力向上の推進

(i) 自立的・持続的な研修体制づくりの推進事業

『情報公開セミナー』研修報告書

3. 平成30年度『情報公開セミナー』実施要項

1. 実施要項

◆主旨

専修学校の質保証・向上の観点から、各校の情報公開等を促進するための情報を共有する。

◆研修名

「専修学校における情報公開等の促進とその取組を通じた研修体制等の構築」プロジェクト
情報公開セミナー

◆日程・会場・申込数・参加者

<第1回> 平成30年11月19日（月） 13:15～16:45
香川県 サンポートホール高松 54会議室
29名申込 / 29名参加

<第2回> 平成30年12月5日（水） 13:15～16:45
群馬県 群馬県公社総合ビル 1 F 東研修室
28名申込 / 29名参加

<第3回> 平成30年12月18日（火） 13:15～16:45
沖縄県 沖縄県立博物館・美術館 美術館講座室
21名申込 / 20名参加

◆研修内容・発表者

時 間	内 容 / 発 表 者
13:00～	受付・会場
13:15～	開講挨拶
13:25～	「専門学校における情報公表の促進」 文部科学省 総合教育政策局 生涯学習推進課 専修学校教育振興室 ご担当者
13:45～	「専門学校における情報公開事例」 香川会場：中央カレッジグループ 経営企画本部 教育開発研究所 主任研究員 八木 信 幸 群馬会場：専修学校インターナショナルデザインアカデミー 事務局長 大城 英 樹 沖縄会場：専門学校穴吹デザインカレッジ 副校長 後藤 良 二
14:15～	「高等学校が望む専門学校の情報公開」 香川会場：香川県立善通寺第一高等学校 教 頭 岡本 義 浩 群馬会場：群馬県立大泉高等学校 進路指導主事 石原 靖 久 沖縄会場：沖縄県立美里工業高等学校 進路指導部 主任 石垣 安 俊
14:45～	休憩
15:00～	グループディスカッション
16:40～	閉講挨拶

令和元年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」

I. 教職員の資質能力向上の推進

(i) 自立的・持続的な研修体制づくりの推進事業

『情報公開セミナー』研修報告書

4. 平成29年度『情報公開セミナー』実施要項

1. 実施要項

◆主旨

専修学校の質保証・向上の観点から、各校の情報公開等を促進するための情報を共有する。

◆研修名

「専修学校における情報公開等の促進とその取組を通じた研修体制等の構築」プロジェクト
情報公開セミナー

◆日程・会場・申込数・参加者

<第1回> 平成30年1月16日（火） 13:30～16:00
福岡県 JR博多シティ会議室
62名申込 / 74名参加

<第2回> 平成30年2月2日（金） 9:30～12:00
東京都 東京ガーデンパレス
150名申込 / 160名参加

1. 実施要項

◆研修内容・発表者

内 容 / 発 表 者	
開講の挨拶	10分
文科省より学校評価、情報公開の変更点	20分
三菱総研より「手引の活用法について」 株式会社三菱総合研究所 主任研究員 沼田 雅美 様	40分
事例紹介①「日本電子専門学校」 学校法人電子学園 日本電子専門学校 校長 古賀 稔邦 様	30分
事例紹介①「森ノ宮医療専門学校」 学校法人森ノ宮医療学園 法人本部長 安田 実 様	30分
閉講の挨拶	10分

令和元年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」

I. 教職員の資質能力向上の推進

(i) 自立的・持続的な研修体制づくりの推進事業

『情報公開セミナー』研修報告書

一般社団法人全国専門学校教育研究会